

平成17年度 「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業 事業実績報告書

事業名	倉敷市子育て支援事業		
団体名	たんぼぼの里	市担当部署	子育て支援課
事業費	755,180円	市の負担額	485,180円

事業の目的・概要	<p>【目的】 地域での子育てサポート体制の確立</p>
	<p>【概要】 概要： 適切な知識と技能を有した子育てサポーターの育成を目的とした講座の開催 の講座を修了した方を対象とした、子育てサポーターの募集 サポーター活動拠点の備品整備 1対1を基本とした子育て支援サービスの実施（一時預かり、日中保育、 送迎、子育て相談・講習会の実施等） サポーター数の充実による、地域での子育てサポート体制の確立</p>

事業実績	<p>子育てサポーター養成講座 受講生 31 名（内、たんぼぼの里での子育てサポーター登録 24 名）</p> <p>子育てサポート事業 利用登録者 27 人 子育てサポート活動報告</p>							
			11月	12月	1月	2月	3月	計
	活動報告	利用者（子ども）	3	4	8	13	41	69人
		提供者（サポーター）	3	4	7	13	40	67人
		提供時間	6H	11.5h	12.5h	20.5h	50.5h	101h

< 事業成果 >

○子育てサポーター養成講座

当所の定員30名のところ、31名の方が受講されました。そのうち、24名がたんぼぼの里での子育てサポーターとして登録され、地域の子育てに協力していただけています。

○子育てサポート

- ・市の広報誌および学校・幼稚園でのチラシ配布によるPR効果が高かった
- ・保健師の方からや、ファミリーサポートセンターからの紹介もあり、市との協働で事業を進めることができた
- ・ファミリーサポートセンターと違ったサービスとして、事務所での預かりが好評で、公的スペースを使った子どもの一時預かりのニーズの高さを知ることが出来た。
- ・ファミリーサポートセンターよりも、対象年齢の幅を広く取ったが(0歳~18歳)、これが利用者に好評だった。
- ・緊急対応、病児対応、障害児対応がうれしいとの利用者の声をいただいた。
- ・定期依頼が来るようになった。

< 課題 >

- ・男性サポーターの応募が少ない。
- ・利用者の数が増えたが、現在のサポーター数では不足がちになりつつある。早期に第2回となる子育てサポーター講座の開催が必要
- ・サポーターへの謝礼が、ファミリーサポートセンターと同水準(@700円)としている一方で、サポートの代価を利用者負担を考慮して800円/hと設定しているため、運営資金の捻出ができない。

・第2回目の子育てサポーター養成講座の開催と、それによるサポーターの充実。
 ・子育て支援活動については、これを継続して行いますが、運営資金の確保が難しいため、利用者から年間登録料(1,000円を予定)をいただくことを検討します。また、利用者とサポーターとを結びつけるコーディネーター業務は、責任者が無報酬で行います。

・実質的な活動が5ヶ月程度と言う短い時間で、これだけの成果が出せたのは、お母さん方のニーズに応えたためだと思います。ファミリーサポートセンターと比べて、より小回りの効く活動ができたのではないのでしょうか?地域での子育て支援を定着させるためにも、倉敷市にはそうした団体を育てていくと言う視点で応援して欲しいと切実に望みます。

提 案 団 体 自 己 評 価 書

事業名	倉敷市子育て支援事業
団体名	たんぼぼの里
1 実施計画書のとおり実施できた	<p>1 できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた</p> <p>3 あまりできなかった</p> <p>4 ほとんどできなかった</p>
2 1の回答で3、4と答えた場合のみ記入	主な理由
3 事業予算書と実績との比較	<p>1 ほとんど同じ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 多少の変更があった</p> <p>3 大幅に変更している</p>
4 3の回答で2、3と答えた場合のみ記入	<p>主な理由</p> <p>事業予算案より、子育てのサポートによる事業高が若干低くなりました。</p> <p>その理由としましては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポートの活動期間が平成17年11月～平成18年3月までと活動期間が短く、利用者に十分な認知が行われなかった。 ・サービス利用者を増やすために、1時間の無料体験サービスを導入し、約15時間（事業高換算約12,000円）ほどあった。 <p>と言う点が考えられると思います。</p>
5 事業の実施によって期待した効果をおげることができた	<p><input checked="" type="checkbox"/> 期待どおりであった</p> <p>2 概ねあった</p> <p>3 あまりなかった</p> <p>4 ほとんどなかった</p>
6 5の回答で、3、4と答えた場合のみ記入	主な理由
7 市と協働することで期待した効果を得ることができた	<p><input checked="" type="checkbox"/> 期待どおりであった</p> <p>2 概ねあった</p> <p>3 あまりなかった</p> <p>4 ほとんどなかった</p>
8 7の回答で3、4と答えた場合のみ記入	主な理由
9 その他、評価すべき点（事業を通じて気づいた点など）	<p>市との協働と言う点では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンターから利用者をご紹介いただくなどして、連携が取れたと思います。 ・市の広報紙に情報を載せていただいたり、学校・幼稚園などでのチラシ配布に協

	<p>力していただき、そこでのPR効果が高かったです。</p> <p>事業を通して気付いた点としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限に幅があり、利用しやすかったという利用者の声をいただきました。 ・利用者のニーズとしては、緊急の場合すぐに連絡が取れて、対応ができるようにして欲しいとのことです。たんぼぼの里では、「すぐに対応して欲しい」という依頼にも応えることができました。 ・ファミリーサポートセンターとの相違点として、事務所での預かりを行いました。これが自宅やサポーター宅での一時預かりに消極的な利用者に好評でした。
<p>市民企画提案事業について意見・要望など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援については、認知度が高まるとともに利用が増え、事業終了間際には毎日のように依頼がありました。これから一定以上の実績が出た場合、活動に対する補助を検討していただきたく思います。利用者が利用しやすい料金設定としているため、現状の料金（1時間800円）では、運営に必要な経費を捻出できません。

市 自 己 評 価 書

事業名	倉敷市子育て支援事業
市担当部署	子育て支援課
1 実施計画書のとおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
2 1の回答で3、4と答えた場合のみ記入	主な理由
3 事業の実施によって期待した効果をあげることができた	1 期待どおりであった ② 概ねあった 3 あまりなかった 4 ほとんどなかった
4 3の回答で、3、4と答えた場合のみ記入	主な理由
5 提案団体と協働で事業実施することの効果はあったか	1 非常にあった ② あった 3 あまりなかった 4 ほとんどなかった
6 5の回答の主な理由	事業自体はファミリーサポートセンターで行っている子育て支援事業と変わりないが、市民や民間が単独で実施するより、市が関与することで、利用者が安心して利用できたことや市の広報紙・ホームページに掲載することでよりPR効果があがったものと思われる。
7 その他、評価すべき点（事業を通じて気づいた点など）	同 上
市民企画提案事業について意見・要望など	<p>平成17年度の提案事業については開始時期が遅く、さらに事業の実質的な開始がサポーター養成講座修了後となったため、実質の事業期間が4ヶ月ほどと非常に短いものとなり、事業の評価が難しかった。また、光熱水費等の精算があり、実績報告書の提出が遅れたこともあり、今後は事業期間を早めに設定する必要があると思います。</p> <p>また、協定項目や事業報告の内容など市の指示どおりの箇所が多くなったため、今後は、提案団体が自立能動的に動け、かつ、担当部署が細かく指示するようなことがないようなシステム（例えば、提案団体用のマニュアルを作成する、等）としていただきたいと思います。</p>